

船舶事故調査報告書

平成28年9月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	旅客負傷
発生日時	平成28年4月20日 06時30分ごろ
発生場所	佐賀県唐津市小川島漁港 小川島港西防波堤灯台から真方位295° 200m付近 (概位 北緯33° 35.7′ 東経129° 53.8′)
事故の概要	旅客船グリーンオークレットは、岸壁に係留中、旅客が機関室に転落して負傷した。
事故調査の経過	平成28年5月12日、調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 グリーンオークレット、19トン 291-43188佐賀、川口汽船有限公司、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	軽傷 1人（旅客）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし 海象：海上 平穏
事故の経過	船長は、操舵室で発航前の点検を行い、甲板員は、早朝であり、発航まで約30分あったので、旅客が乗船してくることはないだろうと思い、‘客室後部床面の客室通路脇に設けられた機関室出入口’（以下「本件出入口」という。）の蓋を開け、蓋を脇に立て掛けて機関室に入り、発航前の点検及び機関を始動する準備を行っていた。 旅客は、開放されていた左舷後部の旅客乗降口から乗船し、客室出入口から入室して座席に向けて客室通路を歩行していたところ、本件出入口から機関室に転落し、頭部、手及び足に打撲傷を負った。
分析	本船は、本件出入口が開放された状態であったことから、旅客が客室通路を歩行中、本件出入口から機関室に転落して負傷したものと考えられる。 甲板員は、早朝であり、発航まで約30分あったので、旅客が乗船してくることはないだろうと思ったことから、本件出入口を開放した状態で機関室の発航前点検等を行っていたものと考えられる。 旅客は、旅客乗降口が開放されていたことから、乗船して客室通路を歩行していたものと考えられる。 本船は、本件出入口を開放して作業を行う際、乗降口付近に作業中である旨の注意書を掲示、もしくは、作業区域を表示していれば、本

	事故の発生を回避できた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、本件出入口が開放された状態であったため、旅客が客室通路を歩行中、本件出入口から機関室に転落したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・床面の機関室出入口を開放して作業を行う場合は、旅客乗降口に係員を配置して旅客に注意を促すか、係員を配置できない場合は旅客乗降口を閉鎖すること。